

七尾市子ども農山漁村交流プロジェクト受入協議会

連絡先

住 所	石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
電話番号	0 7 6 7 - 5 3 - 8 4 3 6
FAX 番号	0 7 6 7 - 5 2 - 2 8 1 2

受入体制

- (1) 1構成メンバー：各地区受入協議会（大吞、西岸、能登島、沢野）（2名）、
各観光協会（七尾市、能登島、和倉温泉）、商工会、旅館飲食店組合
- (2) 地域内の各機関との連携：能登島観光対策室（能登島観光協会）/観光施設/
宿泊施設/地域活性化グループ/観光・農林漁業
- (3) 小学校、旅行会社等との対応・連絡：馬場小学校校長と連絡・調整

受入学校名

石川県金沢市立馬場小学校

当該小学校の受け入れの経過

(1) 小学校との最初の接点（きっかけ）

平成21年5月、石川県観光推進課からの紹介

(2) その後の小学校への対応

紹介を受けて、早急に学校を訪問し、当協議会の概要等説明を行った。

ほか内容は以下のとおり。

①受入地域の説明

②学校側の要望等確認 体験活動の内容（体験メニュー、プログラム）や、宿泊施設等の提案から確認。

③事務局からのプログラムの提案から要望の確認

④学校からの要望に対応可能な体制を心がけた。（スケジュール等に関する確認）

小学校が当地を選定した理由

①校長が能登出身であることから、能登地域を限定。

②海や山のある地域を選定考慮

③地域環境がマッチング（アイランドが魅力）

※アイランドは自然に関わる体験活動を通して、自然を大切にすることを育むことができる。

④要望対応に適切に応じた。

受入地域への効果

(1) 宿泊施設への経済効果となった。

(2) 閑散時季の大きな主要な収入効果となった。

(3) 我流人がインストラクターとして支援することから地域づくりのきっかけにも繋がった。

(4) 受入が体制づくりのための課題解決、整備に繋がった。

※依頼されたから受け入れをする意識から、前向きに受け入れる意識に変化してきた。

(5) 再度、訪れる家族もみられたことから、交流のためのしかけづくりとなった。

受け入れた小学校との関係維持への対応

(1) 当協議会主催の自然体験活動のPR等営業活動を行っている。

(2) 当協議会の活動現況や活動の方向性等を提言し、体験活動実施の報告を行っている。